

コンビニの販売額って？

4月に新天地で通勤・通学をはじめられた方も多いのではないのでしょうか。買物事情はどうでしょう。便利なお店は見つかりましたか。私たちは、一般小売店、スーパーや百貨店、量販専門店、コンビニエンスストア、通信販売などでさまざまな商品を購入します。今回はその中でもコンビニエンスストアについて見てみましょう。

商業動態統計調査でみると、全国の小売販売額が平成25年で138.9兆円、そのうち、コンビニエンスストアの年間販売額（サービス売上高含む）は9.9兆円です。コンビニエンスストアの統計をとりはじめた平成10年と比べると、全国、近畿ともに年々増加しています。参考のため、大型小売店（百貨店やスーパー）の販売額の推移も示しています（図1、2）。

また、家計の実態を調べるため5年ごとに行われる全国消費実態調査では、家計支出金額のうち商品を買ったときの購入先が調査されており、二人以上の世帯について、平成6年から比べると、全国、京都府ともコンビニエンスストアでの購入は増えています（図3）。

近年では、地域産品の販路拡大や観光振興、子育て・高齢者支援、災害時の支援などで、京都府をはじめとする都道府県などとコンビニエンスストアとの地域活性化包括連携協定も締結されています。



図1 コンビニエンスストア・大型小売店の販売額と小売販売額に占める割合の推移(全国)

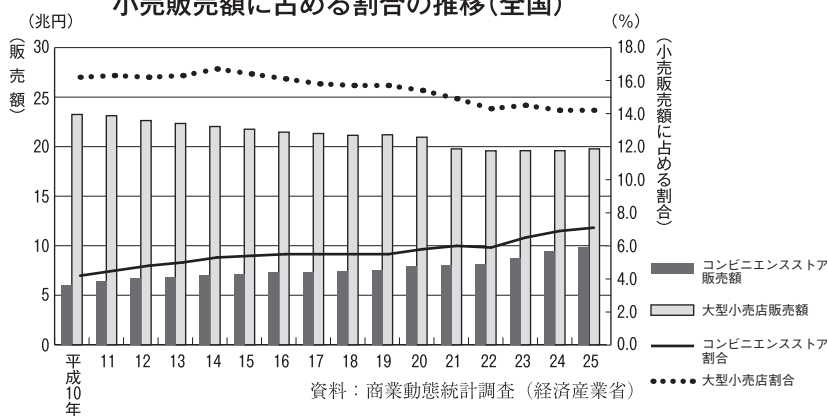


図2 コンビニエンスストアと大型小売店の販売額(近畿)

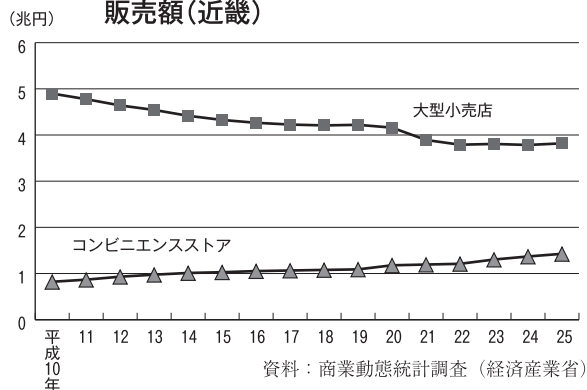
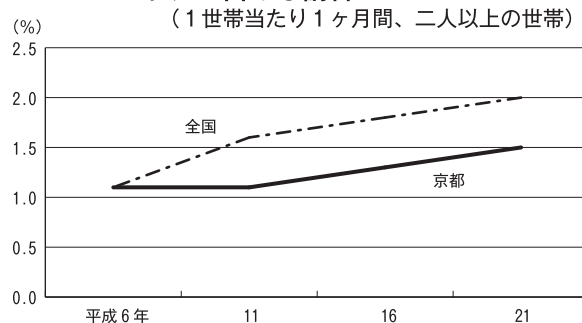


図3 家計での商品購入先のコンビニエンスストアの占める割合 (1世帯当たり1ヶ月間、二人以上の世帯)



資料：全国消費実態調査（総務省）